

科目名	公衆衛生看護方法 I (対象別活動論) Public Health Nursing I		担当教員 (研究室番号)	中北裕子 (404) 荻野妃那 (409)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	中北:yuko.nakakita@mcn.ac.jp 荻野:hina.ogino@mcn.ac.jp					
履修年次	2年次 後期	科目 区分	専門科目・広域看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	地域を構成する人々の健康課題を包括的に捉え、保健活動を行っていくために必要な保健施策の動向、関係法規を学ぶ。											
ディプロマ・ ホルダー (DP)	主要なDP	E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。 (知識・理解)										
	関連する DP	F 人々の健康的な生活を支援するために、必要な情報を様々な方法により収集する能力を身につけている。 (技能・表現)										
到達 目標	1. 保健指導の対象別保健施策の動向を理解できる。 2. 保健指導の対象別保健施策の関係法規を理解できる。											
成績評価方法 (基準)	試験(100%) ※授業の3分の2以上出席していない者は受験資格がありません。											
再試験の有無と 基準等	科目の可否で不合格となった者は、当該学生からの申請があれば再試験(筆記試験)を実施します。											
教科書	標準保健師講座 第3巻 対象別公衆衛生看護活動(医学書院) 標準保健師講座 第2巻 公衆衛生看護技術(医学書院)											
参考書等	最新保健学講座別巻1健康教育論(メヂカルフレンド社)、健康格差社会(近藤克則)、健康教育ナビゲーター(渡邊正樹)、公衆衛生がみえる(MEDIC MEDIA)他、必要に応じて適宜紹介します。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待	疾病構造や社会環境の変化の中、健康な地域づくりが重要な課題となっており保健師活動における予防の重要性が高く謳われ期待されています。保健師の仕事は応用が必要で創造的なものですが、基本がおろそかでは応用的な課題(特に潜在的な健康課題)に対応できないと考えます。保健福祉動向や関係法規を毛嫌いせず、実践に活用できるよう積極的に授業に望んでください。											
備考	公衆衛生看護学概論を修得していないと履修できません。 本科目は公衆衛生看護方法Ⅲ・Ⅳの先修条件となっています。											
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	母子保健の保健福祉動向				母子保健の歴史の変遷、動向について学ぶ。				中北	講義		
2回	母子保健の関係法規				母子保健関係法規と施策(制度)の関連について学び、保健師の役割を学習する。				中北	講義		
3回	成人/高齢者の保健福祉動向				成人/高齢者保健の歴史の変遷、動向について学ぶ。				荻野	講義		
4回	成人/高齢者の関係法規				成人/高齢者の保健関係法規と施策(制度)の関連について学び、保健師の役割を学習する。				荻野	講義		
5回	感染症の保健福祉動向				感染症(主に結核・HIV感染症)の動向について学ぶ。				中北	講義		
6回	感染症の関係法規				感染症(主に結核・HIV感染症)保健関係法規と施策(制度)の関連について学び、保健師の役割を学習する。				中北	講義		
7回	障がい児・者の保健福祉動向と関係法規				障がい児・者保健の歴史の変遷、動向について学ぶ。 障がい児・者保健関係法規と施策(制度)の関連について学び、保健師の役割を学習する。				中北	講義		
8回	難病の保健福祉動向と関係法規				難病保健の歴史の変遷、動向について学ぶ。 難病保健関係法規と施策(制度)の関連について学び、保健師の役割を学習する。				中北	講義		

学 習 課 題	
2年生前期に学習した「保健福祉行政論」「公衆衛生看護学概論」の各自でまとめているノートは、本科目受講時に持参してください。 (講義前には、必ず、保健福祉行政論、公衆衛生看護学において、関連する基礎知識を再復習してください。)	

実務経験を活かした教育の取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。 ・行政機関や学校等において保健師や養護教諭として実務に携わった教員が指導する。また、実習施設では実務指導者から指導を受ける。 	